

広報用実績のまとめ

平成 29 年度

団体名	童謡 とつくんこの会	代表者	ながいくみこ	記載者	ながいくみこ
所在地(市区町村名のみ)	岡山市南区新保				
活動目的	子どもの心を豊かにし、大人の心もとらえるような新しい童謡を作り、広める。 詩画展では、絵と詩が織り成す世界を多くの方に鑑賞してもらう。				
団体の紹介	<p>「子どもの心を豊かにし、大人の心もとらえるような新しい童謡を作りませんか」という、詩人なんば・みちこ氏の呼びかけで、2001年4月に創刊号を発行しました。会の名前は、なんば・みちこ氏の童謡詩「トックン トックン」が由来です。心臓の音、命の音を表しています。年3回「童謡集 とつくんこ」を発行し、楽譜も掲載しています。また、子どものページを設け、これまで2歳から 11歳の子どもの作品を載せました。詩会員54名作曲会員9名、岡山県を中心に県外にも活動の輪が広がっています。</p>				
助成を受けての活動内容	<p>〈「童謡絵本 とつくんこ50号」発行〉</p> <p>2017年8月1日に、会員各自の童謡詩に絵や写真を添えてカラー刷りの童謡集発行。巻末には楽譜も掲載し、総ページ数74ページ。会員や各関係者に送付しました。</p> <p>山陽新聞「エリアの本」のコーナーで紹介されたり、詩画展で創刊号からのバックナンバーとともに展示しました。その結果大きな反響がありました。</p> <p>〈とつくんこ50号記念詩画展 ―野村たかあきと詩人の奏でるうたの世界―〉</p> <p>創刊号の表紙絵はパソコンを使って描いた絵ですが、2号から50号までは、絵本作家野村たかあき氏によって描かれました。野村氏の子どもの遊びを題材にした絵に、会員が童謡詩を添えての50枚のパネル展示です。また、「子どものページ」に掲載された子どもの詩画作品6点と、表紙絵の原画5点も同時に展示しました。</p>				
助成を受けての成果	<p>のべ423名の来場者がありました。感想を直接聞くことができ、今後の活動の参考になりました。</p> <p>56枚の詩画パネルと原画が展示された会場は、「心温まる空間であり、圧巻であった」という感想をいただきました。山陽新聞10月20日の「くらし」の欄に、「子どもの心育む詩、画」という見出しで紹介され、記事を読んで駆けつけてくださった方も数名いました。</p>				
今後の活動の課題点	<p>子どもの心を見つめるという原点に立ち返り、共感を持って読まれるように研鑽を積んでいきたいと思えます。</p> <p>また、童謡詩をより身近に感じてもらえるように、一緒に歌って楽しむ機会を設け、活動の場を広げたいと考えています。</p>				
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	とつくんこ発行所・事務局 ながいくみこ 岡山市南区新保1321-5 TEL086-244-4132 E-mail gun13215@yahoo.co.jp				

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

